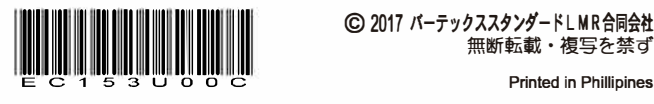


特定小電力トランシーバー
FTH-314/-314L
取扱説明書

- 総務省技術基準適合品
- 免許不要
- 単3形電池 1本動作
- 47チャンネル
- 防水構造

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
このトランシーバーは国内専用モデルです。
海外では使用できません。

販売元：八重洲無線株式会社 国内営業部
開発製造：パーテックススタンダードLMR合同会社



付属品

- ご使用になる前に付属品をご確認ください。
- 取扱説明書（本書）
- 安全上のご注意 / 保証書

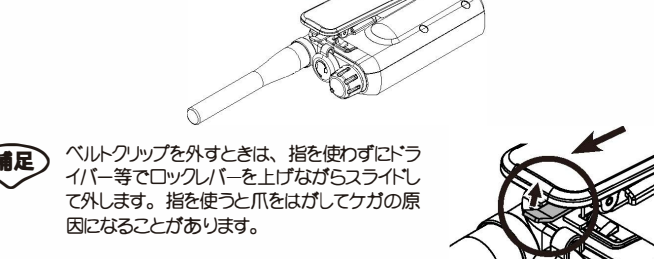
ハンドストラップの取り付け

ハンドストラップは必要に応じて下記のように取り付けてください。



ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップをレールにあわせカチッと音がするまで、確実にスライ入します。



電池の入れかた

- ロックバーを矢印方向にスライドし、ロックを解除してフタを開けます。
- オプションのニッケル水素電池 (FNB-135) または市販の単3形アルカリ乾電池をマイナス(-)から入れます。電池の極性(+)(-)を注意してください。
- フタを「カチッ」と音がするまで確実に押し込みロックします。

バッテリーインジケータの設定

- [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切ります。
- [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れます。セットメニューの“cb-xx”が表示されます。
- [MODE]を押して、“bt-xx”を選択します。
- [▲]または[▼]を押して、使用する電池を選択します。アルカリ乾電池の場合：“AL” FNB-135の場合：“H”
- [通話 (PTT)]を押します。設定を確定し、セットメニューを終了します。

電池の使用時間と注意事項

電池の持続時間を延ばすには
使用できる時間の目安は次のとおりです。またスーパーセーブ機能(セットメニュー“bs-xx”参照)を使用すると、さらに電池の持続時間を延ばすことができます。

電池の種類	スーパーセーブ機能 OFF	スーパーセーブ機能 ON
単3形アルカリ乾電池(日本製の場合)	約30時間	約33時間
ニッケル水素電池(FNB-135)	約33時間	約36時間

電池残量アイコン表示

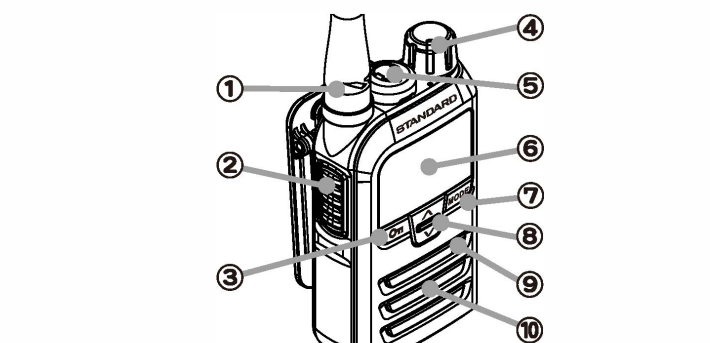
アイコン	状態
満充電アイコン	まだ使えます。
半充電アイコン	少なくなりました。
残量アイコン	残りがわずかです。

電池を交換してください。(FNB-135はすぐに充電してください。)

補足
○10秒送信、10秒受信、80秒待機を繰り返す測定条件になります。上記の使用時間は目安であり、実際に使用できる時間は、使い方や電圧の消費などによって異なります。
○スーパーセーブ機能を使用すると、受信中接続を断ることができる場合があります。

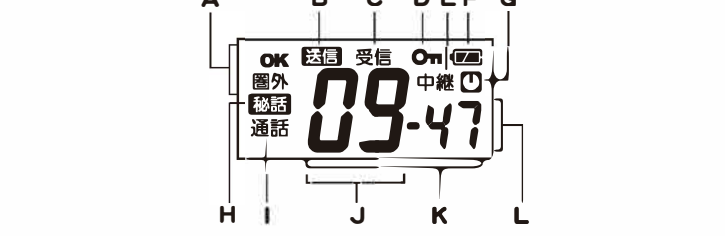
- 使用上の注意
- 市販の単3形アルカリ乾電池とオプションのニッケル水素電池(FNB-135)について
 - 使用せず保管しておくか、必ず充電しながら電池の劣化を防ぎます。
 - 長時間使用しない場合は、ニッケル水素電池(FNB-135)またはアルカリ乾電池を取り外してください。
 - ときどき電池ケースの端子と電池の電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。
 - 端子や電極が汚れていると、接触不良となり正しく使用できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。
 - 電池を交換するときは、電源を切ってください。
 - ニッケル水素電池(FNB-135)または市販の単3形アルカリ乾電池以外の電池は絶対に使用しないでください。故障や火災の原因になります。
- オプションのニッケル水素電池(FNB-135)について
- 当社指定以外の充電器やACアダプターを使用しないでください。火災や故障の原因になります。
 - 初めて使用するときは、必ず充電してください。
 - 充電のしかたは、「急速充電器(セト VAC-68)」の取扱説明書をご覧ください。
 - 充電電圧を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。
 - 長期保管保管の場合は電池容量が低下していることがあります。必ず充電してから使用してください。

各部の名前と機能



- アンテナ
- 通話 (PTT) スイッチ
- ロックキー
- 電源スイッチ / 音量ツマミ
- MIC/SP端子

⑥ ディスプレイ



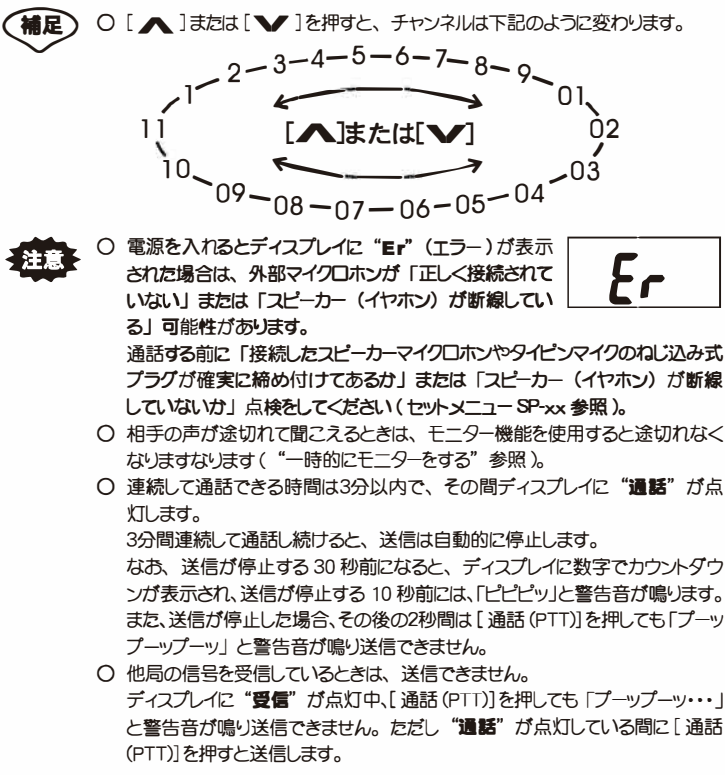
A. コールバック使用時に表示	F. 電池残量表示
B. 送信時に表示	G. オートパワーセーブ表示
C. 受信時に表示	H. 秘話モード時に表示
D. ロック表示	I. 通話中表示
E. 中継チャンネル表示	J. チャンネル番号表示
	K. セットメニューの表示
	L. グループコード表示

- MODEキー
- ▲(アップ)/▼(ダウン)キー
- マイク
- スピーカー

基本的な通話のしかた (ノーマルモード)

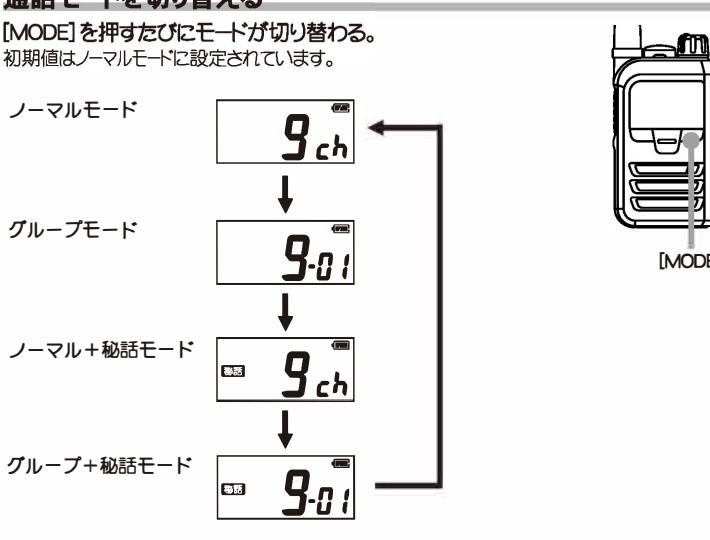
本機には、周囲の状況に応じて選べる3つの通話方法(ノーマルモード、グループモード、秘話モード)があります。

- 電源を入れる
- チャンネルをあわせる
- 音量を調節する
- 押しながら話す



通話モードの切り替えかた

- ノーマルモード
- グループモード
- ノーマル+秘話モード
- グループ+秘話モード

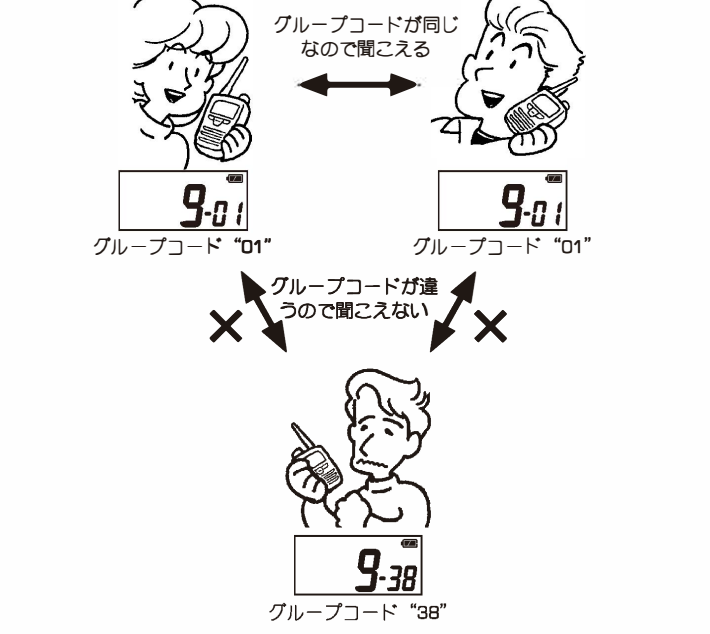


一時的にモニターをする

- モニターにする
- モニターを解除する

グループモード

「同じチャンネルで、他のグループの通話が聞こえたりわづらわしい」そんな時に、あらかじめ同じグループコードに設定しておく仲間同士の音声だけが聞こえます。



キーをロックする

誤ってキー(▲, ▼, [MODE])に離れても設定が変わらない、さらにディスプレイの表示をしない設定にすることが出来ます。

- キーロックする
- キーロックを解除する

- [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切ります。
- [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れます。セットメニューの“cb-xx”が表示されます。
- [MODE]を押して、“hd-xx”を選択します。
- [▲]または[▼]を押して、“ON”を選択します。
- [通話 (PTT)]を押します。設定を確定し、セットメニューを終了します。

キーロック及びディスプレイを非表示にする

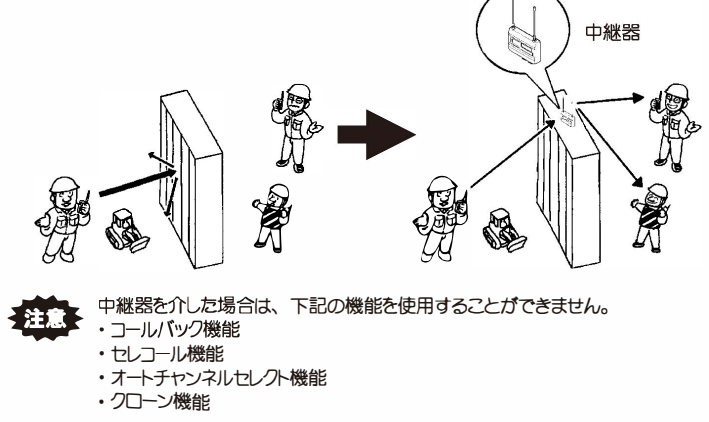
- [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切ります。
- [ON]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れます。“ON”が点灯してキーがロックされ、約2秒後にディスプレイの表示が消えます。
- キーロックとディスプレイ非表示を解除する

設定のしかた

- [MODE]を押してグループモードにします。
- [MODE]を押しながら[▲]を押します。
- [▲]または[▼]を押してグループコードを選びます。
- [通話 (PTT)]を押します。設定が終了します。

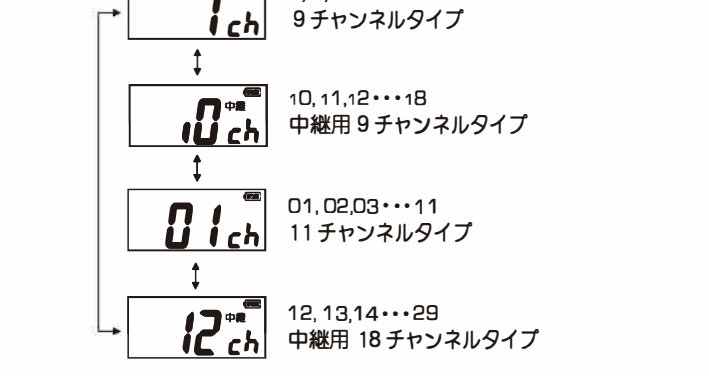
中継機能

途中にビルなどの障害物がある場合や、相手との距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できないときは、当社対応の中継器を中間点に設置することにより、発信範囲が広がります。



中継機能を設定する

- [音量ツマミ]を左にまわしきり、電源を切ります。
- [▲]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れます。
- [▲]または[▼]を押すたびに、チャンネル番号が変わります。



設定を解除する

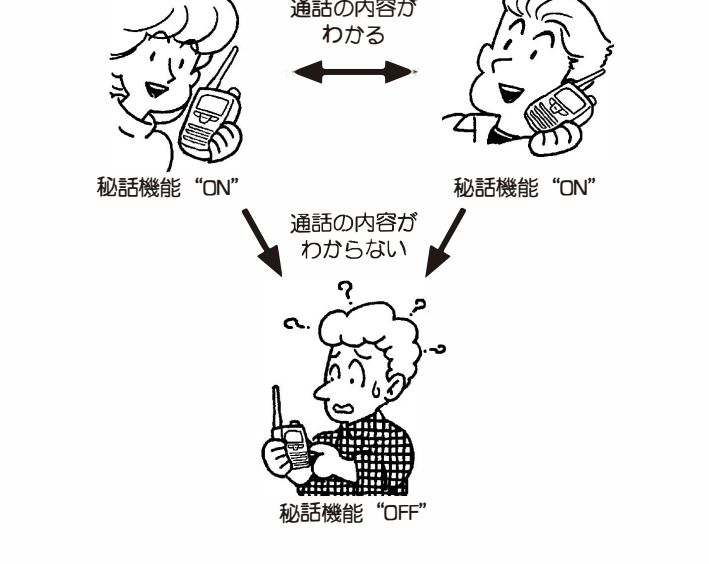
- [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切ります。
- [▲]を押しながら音量ツマミを右にまわし、電源を入れます。

通話のしかた

- [▲]または[▼]を押して、中継用チャンネルの中で中継器と同じチャンネル番号にあわせませう。
- “基本的な通話のしかた”と同様に通話します。

秘話モード

秘話モードに設定していない人は、通話内容を聞き取れなくなります。



- 仲間同士以外でも、同じチャンネルで秘話機能を動作させている人は、通話内容を聞かれる場合があります。
- 秘話機能付トランシーバーでも、機種が違つと、通話できない場合があります。
- FTH-314/-314L以外のトランシーバーと通話すると、音色が異なる場合があります。

秘話モードに切り替える

- “秘話”が点灯するまで、[MODE]を何度か押します。

セットメニューで行う機能

セットメニューの一覧表. Table with columns: 表示, 項目, 設定値, 参照. Includes items like コールバック機能, スキャン機能, VOX機能, etc.

A: コールバック機能 (cb-xx) ~ 通話可能時チェックしたい ~

グループモード時に、コールバック機能を使用すると、「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っていないか」、電子音とアイコンで常時チェックしながら通話ができます。

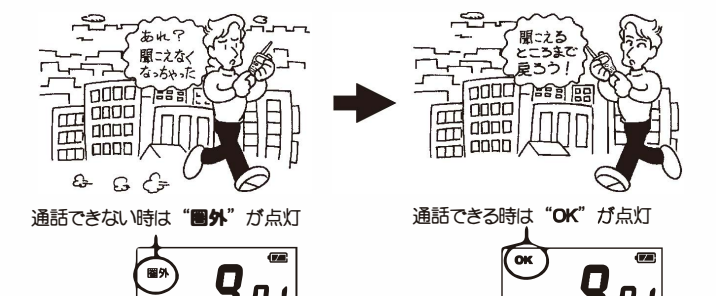
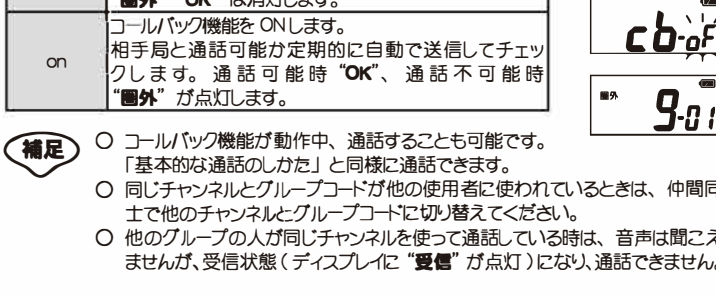


Table with columns: 状況, 電子音, アイコン表示. Describes call back status like '通話可能', '通話不可', etc.

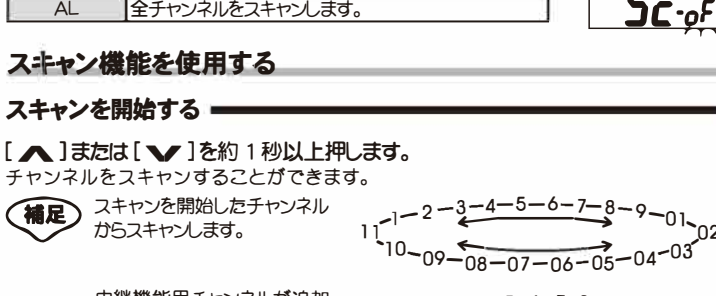
B: スキャン機能 (Sc-xx) ~ 受信信号を探す ~

自動でチャンネルを切り替えながら信号を探します。信号を受信するとスクリーンが一時的に停止し、信号がなくなると、約10秒後に再びスクリーンを開始します。



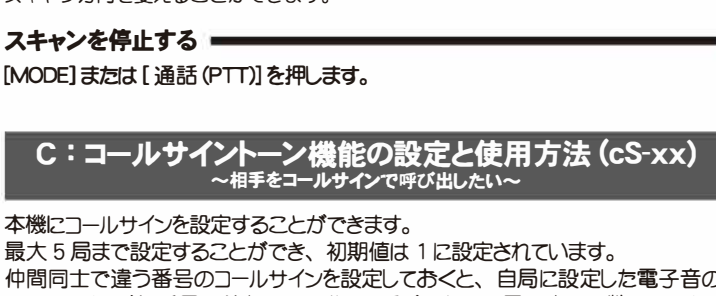
C: コールサイン機能 (Cs-xx) ~ 相手局を呼ぶ ~

自動でチャンネルを切り替えながら信号を探します。信号を受信するとスクリーンが一時的に停止し、信号がなくなると、約10秒後に再びスクリーンを開始します。



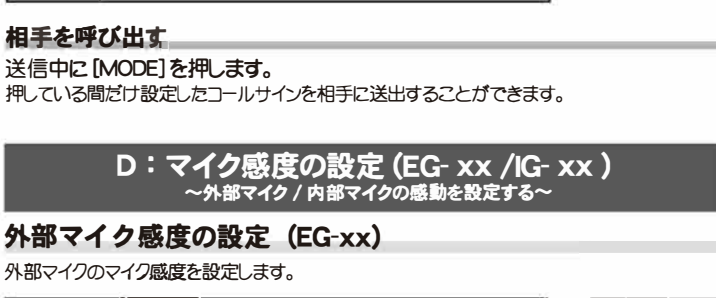
D: マイク感度の設定 (EG-xx / IG-xx) ~ 外部マイク / 内部マイクの感度を設定する ~

外部マイク感度の設定 (EG-xx). 本機にコールサインを設定することができます。最大5局まで設定することができ、初期値は1に設定されています。



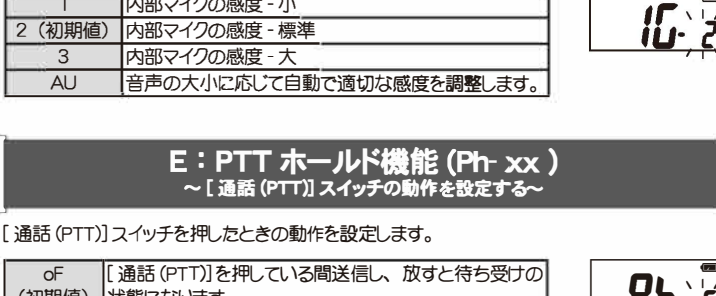
E: PTT ホールド機能 (Ph-xx) ~ 【通話 (PTT)】スイッチの動作を設定する ~

【通話 (PTT)】スイッチを押したときの動作を設定します。【通話 (PTT)】を押している間送信し、放すと待ち受けの状態になります。



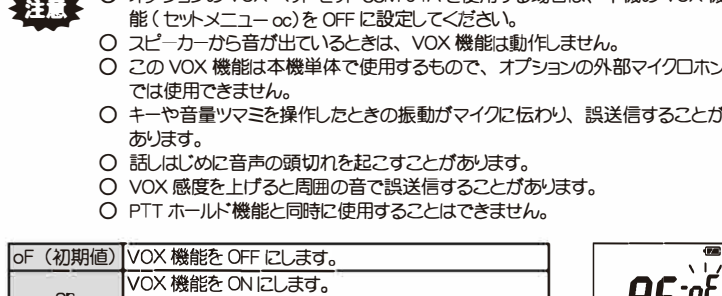
F: VOX 機能の設定と使用方法 (oc-xx / ol-xx / or-xx) ~ 音声で自動送信をする ~

PTTスイッチを押さなくても、音声により送信 / 待ち受けを自動的に切り替えることができます。話すとき送信、話をやめると待ち受けの状態に戻ります。



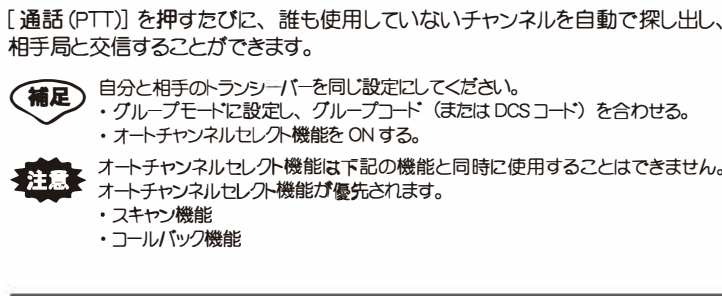
G: オートチャンネルセレクト機能の設定と使用方法 (Ac-xx) ~ 空チャンネルを自動で探す ~

【通話 (PTT)】を押すたびに、誰も使用していないチャンネルを自動で探し出し、相手局と交信することができます。



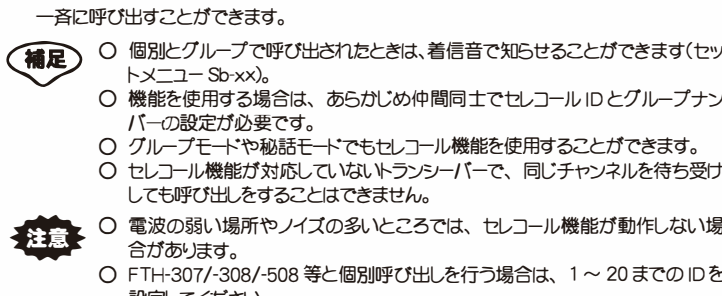
H: セレコール機能 (St-xx / SG-xx / Sb-xx) ~ 特定の局を呼び出したい ~

セレコールは3種類の呼び出しができます。個別呼び出し (01 ~ 99) 01 ~ 99から選択した相手局のみ呼び出すことができます。



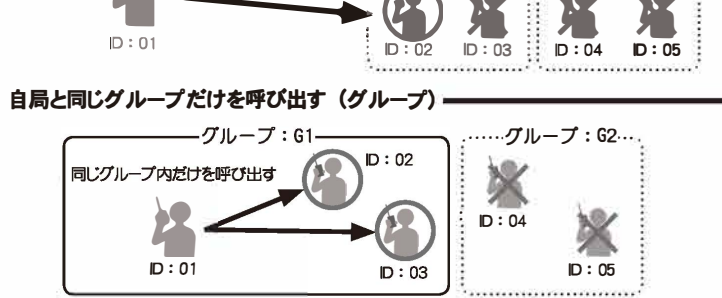
I: ワンタッチボリュームの設定 (PS-xx) ~ ワンタッチで音量を上げる ~

セトメニュー (PS) により、音量リミットを最大値に【On】を短押しすると、ワンタッチで音量を一時的に下げることができます。



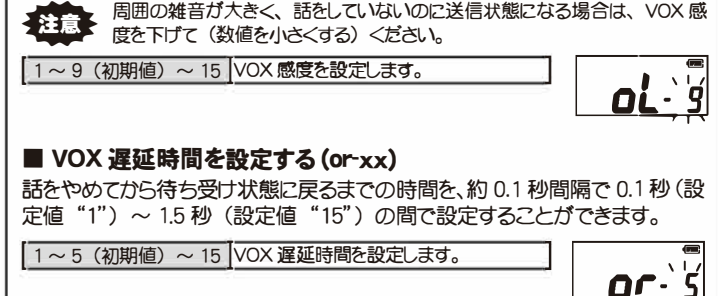
J: クローン機能 (cl-xx) ~ 同じ設定に複製する ~

送り側に設定してある内容をワイヤレスで複数台一斉にコピーすることができます。



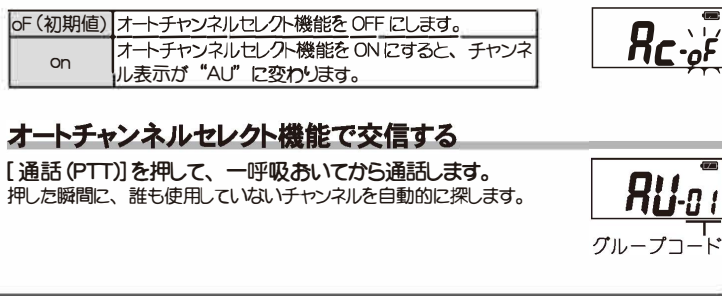
VOX 感度を設定する (ol-xx)

送信状態になるまでの感度を設定します。周囲の雑音が大きく、話していないのに送信状態になる場合は、VOX感度を下げてください。



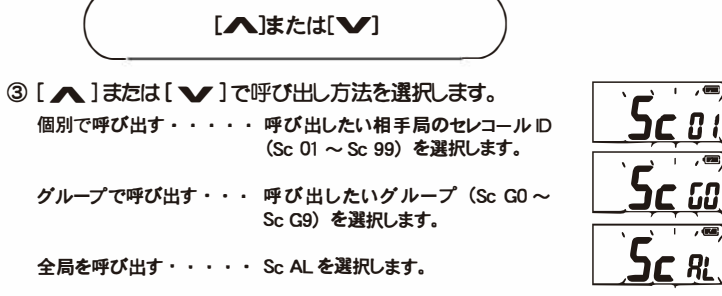
VOX 遅延時間を設定する (or-xx)

話をやめてから待ち受け状態に戻るまでの時間を、約0.1秒間隔で0.1秒 (設定値 "1") ~ 1.5秒 (設定値 "15") の間で設定することができます。



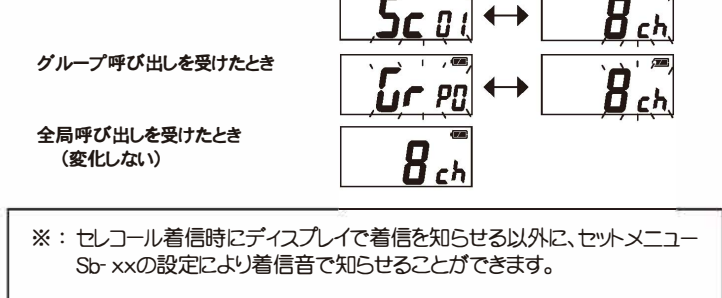
オートチャンネルセレクト機能で交信する

【通話 (PTT)】を押して、一呼吸あいてから通話します。押し続けた際、誰も使用していないチャンネルを自動的に探します。



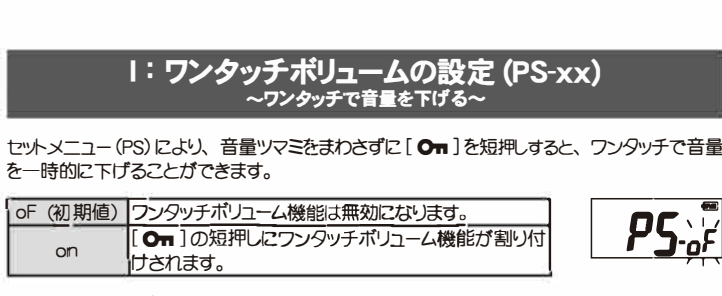
呼び出しをする

① チャンネルスイッチをまわして、相手局と同じチャンネルにあわせませう。② 【MODE】を押しながら【V】を押します。



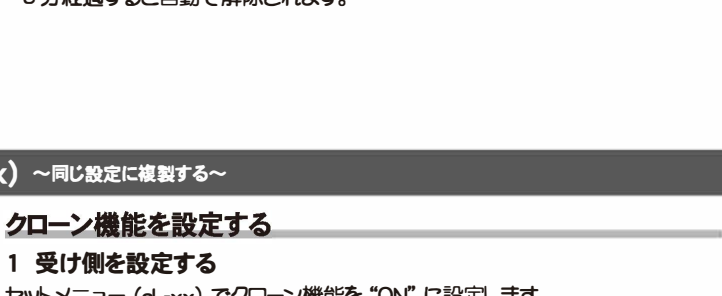
呼び出しを受けたとき

個別呼び出しとグループ呼び出しは「着信音が鳴る」とともに、ディスプレイにセレコール表示とチャンネルが交互に点滅し着信を知らせてくれます。



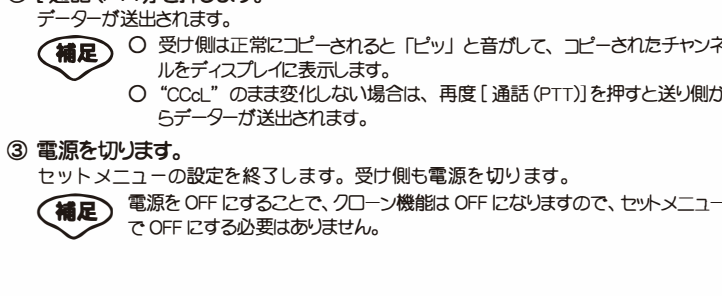
セレコール着信音を設定する (Sb-xx)

選択時に着信音が鳴り確認しながら設定することができます。



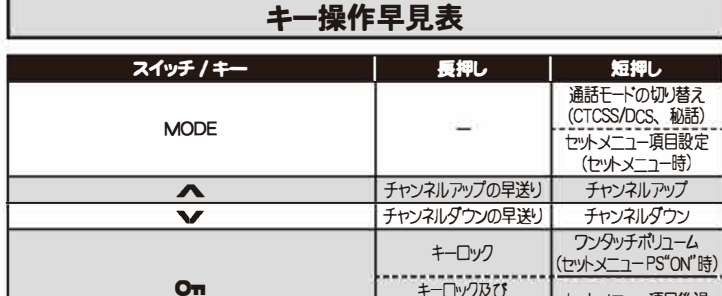
ワンタッチボリューム機能を使用する

【On】を短押しします。ワンタッチボリューム機能が動作中、ディスプレイ表示が点滅します。



ワンタッチボリューム機能を解除する

いづれかの方法で解除します。・【On】を短押しします。・電源をオフにします。・3分経過すると自動で解除されます。



セットメニューの操作

- 各セットメニューの設定を変更するときは次の手順で行います。① 【音量ツマミ】を左にまわしきり電源を切ります。② 【MODE】を押しながら【音量ツマミ】を右にまわし、電源を入れます。③ 【MODE】を押すたびに、セットメニューの項目が切り替わります。④ 【上】または【下】を押して、減した設定値を選択します。⑤ 【通話 (PTT)】を押します。⑥ 【通話 (PTT)】以外に電源を切っても、設定を確定してセットメニューを終了することができます。

オプション一覧表

Table with columns: 品名, 型番. Lists various accessories like external speakers, chargers, and antennas.

定格

Table with columns: 送受信周波数, 中継装置使用時間, 電圧, etc. Lists technical specifications for the device.

キー操作早見表

Table with columns: スイッチ/キー, 機能, 短押し. Lists key functions and their corresponding actions.